

学び合いの会

2021

真生会館「学び合いの会」は、信徒による企画・運営によって、21世紀を旅する教会のあり方を問い続ける集まりです。互いの言葉に耳を傾け、体験を通して学び合い、成熟した信仰者として現代社会に生きる姿勢を模索しながら活動しています。

2021年度の学び合いの会は、3月から11月まで、《例会—4月、10月》と《分科会—奇数月》の併行開催になります。

2013年の教皇フランシスコ就任によって教会全体が第2バチカン公会議以来の大きな節目を経験しています。学び合いの会は過去5年間、教会刷新を目指す教皇の思想を学びながら、改めて「神の民としての教会」のあり方を考えてきました。

今年度の《例会》は、テーマを特に設定せずフリーディスカッションの場とします。また《分科会》は、新カテケシス「この地上世界を癒すために」全九回（原英文）を読み解きます。

《例会》 テーマを特に設定せずフリーディスカッションの場とします

かつての学び合いの会の伴走者 故増田祐志神父著「カトリック教会論への招き」（上智大学出版）を参考書として、改めて教会の意義—存在理由—を確かめ、異例の時を過ごしている教会のこれからを語り合います。

《分科会》 新カテケシス「この地上世界を癒すために」英語版の精読

コロナ後の地上世界は、元のノーマル状態に戻ってはいけません。なぜならそれは「病んでいた」から…こう呼びかけるフランシスコ教皇が提唱する「目指すべき新たな社会経済システム」を、2021年の5回の分科会（奇数月第三土曜日）で探求します。

原英文は：<http://www.vatican.va/content/francesco/en/audiences/2020.index.html#audiences> 参照

なお、教皇の新カテケシス「この地上世界を癒すために」全九回のタイトルは、

1. Introduction、 2. human dignity、 3. an ethically sound economy、 4. The universal destination of goods and the virtue of hope、 5. Solidarity and the virtue of faith、 6. Love and the common good、 7. Care of the common home and contemplative dimension、 8. Subsidiarity and virtue of hope、 9. Preparing the future together with Jesus who saves and heals

- 同伴司祭： ホアン・マシア神父（イエズス会）
- 場 所： 新宿区信濃町 真生会館 1Fホール Tel: 03-3351-7121
- 日 程： 2021年3月～11月（6月、8月休み）の第3土曜日
 《例会》 4/17 10/16 （全2回）
 《分科会》 3/20 5/15 7/17 9/18 11/20 （全5回）
- 時 間： 例会、分科会ともに、午後1時30分～3時30分
- 参加費： 1回につき500円（毎出席時、または一括前納）
- 問合せ先： 例会： 春宮伸光 Tel: 03-3851-0551
 分科会： 齋藤 旬 Mail: junsaito@jcom.home.ne.jp

分科会はオンライン勉強会になる場合があります。参加する方は事前にお問い合わせ下さい。